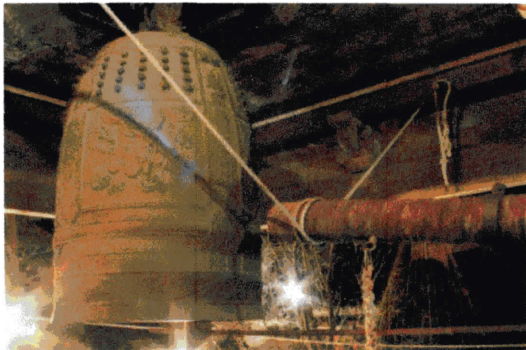


# 12月31日 大晦日 除夜の鐘

## 年末恒例 お餅つき

## かわら版～年末号～



東円寺の梵鐘



お参りする方々。

平成24年12月31日～平成25年1月1日、新しい年に日付が変わる頃、たくさんの方が「除夜の鐘」を撞きに来られました。

人間には、108の「<sup>ほんのう</sup>煩惱」があるとされています。「<sup>ほんのう</sup>煩惱」とは、人の心を惑わせたり、悩ませたり、苦しめたりする心の働きの事をいいます。鐘の音は仏の清らかな声、仏の教え、その力強い鐘の音とともに、煩惱をきれいに洗い落として、清らかな心で新年を迎えます。

寒さに負けず、風邪をひかないようにお寺では、毎年あたたかい、けんちん汁と甘酒を用意しています。



「ヨイショッー」と力強いかけ声で！！



小さな子供から、大人まで、賑やかな「お餅つき」つきたての美味しいお餅をいただきました。



### 鏡餅（かがみもち）

古くから鏡は霊力を供えたものとして扱われていて、餅は神聖な力がやどる食べ物とされていました。その餅を神の宿る鏡にみたてて形作ったのが「鏡餅」だと言われているそうです。

お正月に飾る「鏡餅」は訪れた年神が宿るとされ、「御供え餅」や「お雑煮」の習慣とともに現代に生きています。「かもち」や「長もち」などの言葉が使われているように、稲作農耕民族である日本人にとってお餅は大切な、きってもきれない食べ物だということがわかります。

二月二十九日は、東円寺の「お餅つき」の日です。今年も、賑やかに恒例のお餅つきを行いました。お盆や正月は共に収穫を感謝し豊穡を祝う為の「先祖祭り」です。ご先祖様に感謝しながら、檀家の皆様の苦を祓い、新しい年がよい年となるよう祈りをこめて毎年お餅をついています。

平成25年度  
東円寺

# 初不動尊大祭

～1月28日～

交通安全・厄除け祈願祭

かわら版  新春号



富士山・鈴原不動尊



お護摩の様子

今年も恒例の初不動尊祈願祭が、1月28日、盛大に行われました。

交通安全祈願の他、家内安全・入試合格・商売繁盛など併せて祈願の護摩を焚いて祈りました。富士吉田警察署長さんをはじめ、交通安全協会の役員さんなど多くの壇信徒の方々がご参拝下さいました。

護摩木を焚く炎は不動明王の背後にある<sup>かゝるらえん</sup>迦桜羅炎に見えてくるから不思議です。<sup>かゝるらえん</sup>迦桜羅炎とは、毒なるものを焼き尽くすといわれています。不動明王の真言と力強い太鼓の音を耳にしているとすべての悪い物を払っていただけるパワーを感じます。

## 東円寺の不動明王

東円寺のお不動様は、江戸時代までは、富士山の一合目、鈴原大日堂に安置されていました。明治の廃仏毀釈の時に富士山より下ろされました。不思議な夢によって導かれ、東円寺に祀られることになりました。古来より、富士修験者や富士講の人々に信奉されてきた靈驗あらたかな「富士山のお不動さん」です。その他「海沢不動尊」、「富士見不動尊」と、計3体のお不動様がお守りくださっています。